

令和6年7月1日

岡山県産業労働部
産業振興課地域産業班
担当：森下・竹内
(内線 5183・5187)
電話：086-226-7352

お知らせ

「自動車関連企業開発人材育成塾」を開催します！

県では、県内自動車関連企業において新技術・製品等の開発企画を推進する人材の育成を図るため、次のとおり「自動車関連企業開発人材育成塾」を開催しますので、お知らせします。

(委託先：公益財団法人岡山県産業振興財団)

なお、本件については、県政記者クラブ及び経済金融記者クラブへ同時にお知らせしています。

記

- 1 名称 「自動車関連企業開発人材育成塾」
- 2 日程 令和6年8月から令和7年2月まで
- 3 開催場所 ピュアリティまきび (岡山市北区下石井2-6-41) 他
- 4 研修内容 塾形式の計画的なカリキュラムの中で、企画アイデアとロードマップ、量産設計や設計VEなど、開発設計のノウハウを学ぶ
(座学研修6回、実地研修3回)
※ 実施内容、スケジュール、場所等の詳細は別紙のとおり。
- 5 対象者 県内の自動車産業に従事する中堅社員
- 6 定員 10名程度
- 7 参加費 6,600円(税込) / 名 ※別途、実費負担有
- 8 申込期間 令和6年8月7日(水) 17:00締切
- 9 申込方法 下記URLの申込フォームまたは、QRコードよりお申込みください。
https://www.optic.or.jp/okayama-ssn/event_detail/index/3282.html
- 10 問合せ先 (公財)岡山県産業振興財団 ものづくり支援部 研究開発支援課
担当：田口、勝野、赤木
TEL 086-286-9651 FAX 086-286-9676 MAIL jidousya@optic.or.jp



令和6年度

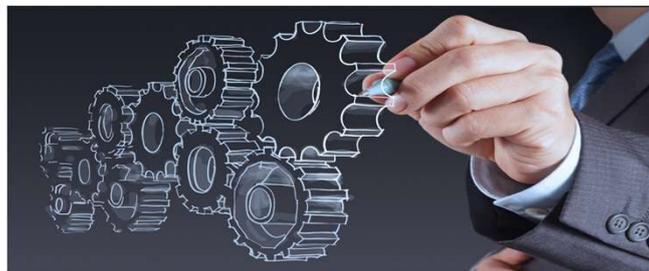
自動車関連企業開発人材育成塾

自動運転や電動車両などの新しい技術の理解・習得、ソフト開発スキルの向上、及び持続可能性と環境への配慮などが当たり前になりつつある自動車業界の中で、県内企業においては、新たな技術、製品等をメーカーに提案するための技術力・開発力向上が、より重要になっています。

そこで、本研修では開発設計の基本を再認識すると共に、新技術・製品等の開発企画ができる人材になれる様、塾形式の計画的なカリキュラムの中で、企画アイデアとロードマップ、先行開発、量産設、設計VE、デザインレビューなどを学び、構想設計にも挑戦します。

■対象者：県内の自動車産業に従事する中堅社員
(入社5～10年目程度)

※原則、全ての研修にご参加いただけます。



定員：10名程度

受講料：6,600円(税込)/名

※別途、実費負担有

申込み切：令和6年8月7日(水)

17:00まで

申込方法：ホームページ 又はQRコードによるお申込み

https://www.optic.or.jp/okayama-ssn/event_detail/index/3282.html



全日程

	テーマ	日程	場所
座学研修	第1回 開発すべきものを見極める ～企画アイデアとロードマップ～	令和6年 8月27日(火) 10:00～16:00	ピュアリティ まきび
	第2回 優位性を確保する～先行開発とお客様の信頼を得る～ ～量産設計	令和6年 9月25日(水) 10:00～16:00	
	第3回 機能とコストの対比により最適な価値の確保を目指す設計VE	令和6年10月17日(木) 10:00～16:00	
	第4回 開発設計のアウトプットを高める“デザインレビュー”と 課題解決に役立つ“なぜなぜ分析”	令和6年11月12日(火) 10:00～16:00	
	第5回 過去トラ集を使ったFMEAの作り方と効果的なDRによる 未然防止活動	令和7年1月10日(金) 10:00～16:00	
	第6回 研修まとめ ～構想設計を経験する～	令和7年2月06日(木) 10:00～16:00	
実地研修	第1回 自動車部品のCTスキャナーによる内部観察を体験する	令和6年12月04日(水) 10:00～16:35	(株)島津製作所 (京都府)
	第2回 自動車生産ラインを見て 生産現場の改善活動を理解する	令和6年12月19日(木) 13:00～17:00	三菱自動車工業(株) (岡山県)
	第3回 他社の新製品開発事例を通し 新規開発メソッドを習得する	令和7年1月22日(水) 14:00～17:00	(株)浜野製作所 (東京都)

※研修日程については 変更になる可能性があります。

座学研修

第1回 開発するべきものを見極める ～企画アイデアとロードマップ～

令和6年
8月27日(火)

1. 新企画アイデアの発想
2. アイデアを企画書にまとめる
3. 未来と繋ぐロードマップ
4. グループ討議・質疑

第2回 優位性を確保する～先行開発 と お客様の信頼を得る～量産設計

令和6年
9月25日(水)

1. はじめに
2. 設計の大きな流れ
3. 先行開発段階の設計力
4. 特許
5. 量産設計段階の設計力
6. 設計力を伸ばす
7. グループ討議・質疑

第3回 機能とコストの対比により最適な価値の確保を目指す設計VE

令和6年
10月17日(木)

1. VE活動の背景
2. 原価管理の活動
3. 原価計算の進め方
4. VE手法の進め方
5. VEの具体的な展開
6. 原価改善の事例
7. グループ討議・質疑

第4回 開発設計のアウトプットを高める“デザインレビュー”と課題解決に役立つ“なぜなぜ分析”

令和6年
11月12日(火)

1. デザインレビューの役割
2. 設計プロセスに組み込まれたデザインレビューの位置づけ
3. デザインレビューの実施要領
4. なぜなぜ分析の狙い
5. なぜなぜ分析の進め方
6. グループ討議・質疑

第5回 過去トラ集を使ったFMEAの作り方と効果的なDRによる未然防止活動

令和7年
1月10日(金)

1. 品質問題をなくすFMEAとDRの考え方
2. 過去トラの集め方、まとめ方
3. 使い易い過去トラ集の具体事例
4. 未然防止の活動事例
5. 過去トラ集の管理の仕方
6. ソフト面(ひと、業務管理、ルール)の改善事例
7. 設計品質改善活動の原動力
8. グループ討議・質疑

第6回 研修まとめ ～構想設計を経験する～

令和7年
2月06日(木)

1. はじめに
2. ケーススタディ
3. グループ演習を通して構想設計を経験する
4. 発表・まとめ・講師講評
5. 修了証書授与

実地研修

第1回

自動車部品のCTスキャナーによる内部観察を体験する

令和6年
12月04日(水)

～ 部品内部に潜む品質不良などを判定するための手法と製品品質の向上技術を学ぶ ～

見学先

株式会社島津製作所 *1 京都本社
(京都府京都市中京区西ノ京桑原町1番地)

内容

- ①座学研修 (X線とは何か、CTの原理原則、法令 (届出・特別教育・安全衛生を含む) について)
- ②グループに分かれて実機研修 (SMX-225CT、Xseeker-8000)
- ③サイエンスプラザ、SCOEラボツアー等見学



*1 (株)島津製作所…「人の健康」「安心・安全な社会」「産業の発展」の事業領域で、分析機器、計測機器、医用機器、産業機器を取り扱っている。最先端の分析技術で、研究開発・品質管理に貢献し、また精度の高い試験計測技術で産業分野のモノづくりを製品検査や品質管理の面からサポートを行っている企業。

第2回

自動車生産ラインを見て 生産現場の改善活動を理解する

令和6年
12月19日(木)

～ 実際の生産工程を製造プロセスに沿って確認し「品質向上・コスト低減・納期短縮の現場改善活動」を学ぶ ～

見学先

三菱自動車工業株式会社 水島製作所 *2
(岡山県倉敷市水島海岸通1丁目1番地)

内容

- ①会社紹介、生産工程・ラインレイアウト等説明
- ②最新設備・工法や現場改善の取り組み状況について説明
- ③工場見学
(プレス → 溶組 → 組立 → EVバッテリーAssy)
- ④質疑応答



*2 三菱自動車工業(株)水島製作所…軽自動車と、環境性能に優れた100%電気で走る車などを生産しています。プレスから最終組立までの車作りの全工程作業が行われており、エンジン組立や鋳物・鍛造加工なども含んだ世界でも稀有の一貫生産工場です。また、各種条件を加味して生産する順番を決める計画序列により電気自動車もガソリン車も同一ラインで混流生産をしています。

第3回

他社の新製品開発事例を通し 新規開発メソッドを習得する

令和7年
1月22日(水)

～ 新製品を開発するために必要なアイデアの企画立案や手法について 事例を通して学ぶ ～

見学先

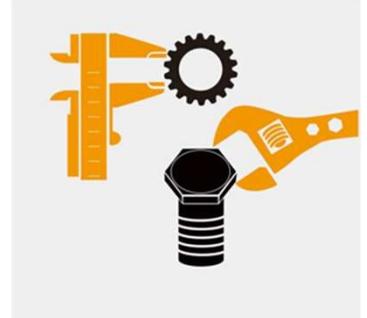
株式会社浜野製作所 *3 本社板金工場/Garage Sumida
(東京都墨田区八広4-39-7)

内容

- ①会社紹介、経営理念等紹介
- ②研究開発事例について
- ③工場内見学
- ④質疑応答



*3 (株)浜野製作所…創業者の突然の死去に伴う事業承継、社長就任後の工場火災、下請け業の厳しい現実といった困難に直面しながらも、様々なプロジェクトに挑戦し成長してきた町工場・浜野製作所。先代が金属金型工場として創業した同社は現在、設計・開発を行う装置メーカーへとその事業構造を変化させている。



株式会社ワールドテック

【研修1担当】

(株)ワールドテック講師

佐藤 進 氏

日本電装(株)-現(株)デンソーに入社。デバイス事業部の開発部門において多くの半導体開発に従事。

また、企画部門で新デバイス開発構想や事業企画を担当。

04年～09年には「一般社団法人ナノテクノロジービジネス推進協議会 (NBCI)」に出向。

その折、ロードマップ策定委員会事務局に選任され幅広くロードマップに関与。

【略歴】

1971年 日本デンソー(株) (現(株)デンソー)入社
IC研究室

1973年 (株)日本自動車部品総合研究所出向
電子デバイス・センサーの研究開発

1993年 デバイス事業部 LSIプロセス開発

1998年 デバイス事業部 技術企画
新デバイス長期構想 事業企画

2004年 (株)ナノテクノロジービジネス推進
協議会出向

ロードマップ委員会事務局

2012年 (株)ワールドテック入社
現在に至る



株式会社ワールドテック

【研修2・4・6担当】

(株)ワールドテック技術担当部長、講師

山田 悦史 氏

日本電装(株)-現(株)デンソーに入社。

長年開発設計部門に在籍し、幾多の新規自動車アクチュエーターの構想設計・詳細設計から量産立ち上げまでを経験し、製品コンセプト構築、品質の確保をはじめとする製品開発設計マネジメントに通じている。

又、ソレノイド、バルブ、ギヤ、モーター、流体ポンプ、半導体圧力センサ等の各種要素技術や、各種金属・樹脂材料の物性について豊富な知見を有している。

【略歴】

1973年 日本デンソー(株) (現(株)デンソー)入社

1973年 生産技術部 生産技術研究

1978年 機能品技術部 開発設計

2007年 富士通デン(株)(現デンソーデン) 機構部品統括

2010年 天津富士通デン精密電子(中国天津市) 総経理

2015年 (株)デンソーデン 後進の育成

2018年 ワールドテック入社

現在に至る



株式会社ワールドテック

【研修3担当】

(株)ワールドテック講師

岡本 邦夫 氏

日本電装(株)-現(株)デンソーに入社。

出向先の日本自動車部品総合研究所にて触媒担体や活性炭素繊維を開発。

(株)デンソーに戻り、空気清浄フィルタの開発・設計や燃料電池関連システムの開発に従事。2005(株)デンソーテクノ (デンソーグループ会社) に出向・転籍し、技術者教育の企画と実践に従事。

【略歴】

<業績>

1995年 自動車技術会発表～車室内空気の清浄化技術～

1996年 SAE国際会議発表～上記関連テーマ～

1996年 自動車工学シリーズ「カーエアコン」共著 山海堂発行

2021年 機械要素の選定・活用ガイド「シール編」 日刊工業新聞社発行

<経歴>

1973年 日本電装(株) (現(株)デンソー)入社

日本自動車部品総合研究所出向

1985年 (株)デンソーフィルター技術部開発

1997年 (株)デンソー開発部

2005年 (株)デンソーテクノ 人材育成

2009年 テクノサポートオーテス設立し、技術者教育に従事。

(担当分野) ねじ締め、トライボロジー、
表面処理、鉄鋼材料の熱処理、樹脂&
ゴム材料、接合技術(接着剤、溶接)、
シール材、VEと原価管理

2016～2022年

愛知工科大学 非常勤講師

(担当：次世代エネルギー、表面工学)

現在に至る



株式会社ワールドテック

【研修5担当】

(株)ワールドテック講師

二村 直良 氏

日本電装(株)-現(株)デンソーに入社。

冷暖房品質保証部で自動車用A/C製品 (主にコンプレッサ) の品質保証業務に従事。

海外拠点への出向も含め、一貫して品質保証業務を国内外で担当。

海外メーカー対応、品質問題対応等の経験が豊富で、品質保証の仕組みに精通している。

【略歴】

1981年 日本電装(株) (現(株)デンソー) 入社

車載用冷暖房製品の品質保証業務 (市場クレーム) に従事

1992年 北米 (ミシガン州) のカーA/C生産拠点に出向し

CKD部品の現地調達及びその品質保証活動を推進

1997年 帰国後、カーA/C用コンプレッサの

初期流動業務のマネジメントを担当

2002年 ドイツに出向し、欧州新A/C工場

立ち上げ活動に従事

2004年 チェコの欧州新A/C工場に移動し、

品質保証責任者として活動

2006年 帰国後は、冷暖房製品の品質保証

マネジメントを担当

2017年 (株)デンソーエアクル転籍

品質保証担当 常務取締役

2021年 (株)ワールドテック入社

現在に至る



注意事項

- (1)原則、全ての研修に参加する者に限ります。
- (2)実地研修については、日程など変更となる可能性があります。詳細スケジュールにつきましては、申込者へ別途ご連絡いたします。
- (3)実地研修は、原則現地集合・解散となりますので、実費が発生いたします。
- (4)別途案内を予定している令和6年度EV構造研究活動への参加を推奨いたします。

お問合せ先

〒701-1221 岡山市北区芳賀5301 テクノサポート岡山3階
公益財団法人岡山県産業振興財団 ものづくり支援部 研究開発支援課 担当：田口、勝野、赤木
TEL 086-286-9651 FAX 086-286-9676
E-mail jidousya@optic.or.jp